

妊娠している方へ緊急のご通知  
先天性風疹症候群の児の出産の報道について

2019年2月1日

公益社団法人日本産婦人科医会 会長 木下 勝之  
“風疹ゼロ”プロジェクト作業部会 代表 平原 史樹

このたび2018年7月以降風疹が流行している中で、先天性風疹症候群の児が確認されたとの報道がありました。当事者となられた、お子さま、またお母さまのおかれた状況、ご両親の心中を察するにたいへん心が痛みます。

すこしでも風疹をなくして、妊娠中に赤ちゃんが風疹にかかり先天性風疹症候群にならないことを切に願っておりましたが、現在もまだまだ赤ちゃんがおなかの中で風疹にかかるリスクは厳然と存在しております。

本会はかねてより風疹の予防接種（MRワクチン；麻疹-風疹ワクチン）の接種推進を強く主張しておりますが、現在の危急の風疹流行の事態では妊婦さん自身が自己防御していただくことも重要なため、併せて強くお願い申し上げます。

**「妊婦さんへ風疹からの緊急避難行動のお願い 緊急第3報：2018年10月」**  
[http://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/10/201810rubella\\_3rd.pdf](http://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/10/201810rubella_3rd.pdf)

改めて現在の風疹流行の状況の中で母児感染のリスクを少しでも減ずる行動をとられるよう妊婦さん、また周囲の方々へ強くお願いを申し上げます。